

IV 教育推進充実部門活動報告

1. 基礎教育センター

(1) 基礎教育センター組織

- ①センター運営委員長として新たに人間健康学部スポーツ健康学科 齋藤茂先生が就任
 オブザーバーとして全学協議会の教務委員会担当の等々力賢治先生
 センターのメンバーは代表1名、オブザーバー1名、担当教員3名、事務担当1名、合計5名

(2) 年間活動の概要

- 4月 センターツアーの受け入れ（総合経営学部・人間健康学部新生）
 「朝の学習講座」開始（SPI 数学、基礎数学、人文科学及び言語分野）
 短大部キャリアスタンダードⅠ前期授業で「一般教養解説コース」授業15回開始
 前期「10分間学習」実施、採点（全14回）及び解説
 「一般教養基礎問題」開始 スポーツ健康学科1・2年生（後期まで全18回）
 「入学前学習用問題集」返却、「春期課題問題集」回収・採点（学生アルバイト）
- 5月 「漢字検定講座」「数学検定講座」開講
 「基礎教育センターだより」発行（年4回）
- 6月 短大部キャリアクリエイトⅢ「就職試験対策講座」（全7回）
 「春期課題問題集」返却
- 7月 「夏期課題問題集」作成・印刷・配布
- 9月 「夏期課題問題集」回収と採点開始（学生アルバイト）
 人間健康学部キャリアデザインⅠ（道幸先生）における後期10分間学習実施と解説
 （9回）
 後期「10分間学習」実施と採点（全14回）ならびに解説
 総合経営学部3年「社会教養」の問題作成（全13回分）
- 11月 人間健康学部2年に Benesse よる「一般常識・基礎学力テスト」実施
 短大部キャリアスタンダードⅡでの一般教養対策講座開始（7回）
- 1月 「夏期課題問題集」返却
 「入学前学習用問題集」・「春期課題問題集」の作成
- 2月 「入学前学習用問題集」・「春期課題問題集」の配布
- 3月 「入学前学習用問題集」採点、「春期課題問題集」回収

(3) 学習支援活動の内容

①キャリア連携対策講座

講座名	担当者	回数	対象
キャリア・スタンダードⅠ（解説コース）	福嶋・日野谷・中田	30	短期大学部1年生
キャリア・クリエイトⅢ	福嶋・日野谷	7	短期大学部2年生
キャリアデザインⅠ	福嶋	11	人間健康学部2年生
キャリア・スタンダードⅡ	福嶋・日野谷・赤羽	14	短期大学部1年生

大学入門（計算力と文章表現）	福嶋・日野谷	5	健康栄養学科1年生
合計		67	

②基礎学力維持のための「朝の学習講座」の開講

講座名	担当	回数	学部	短大	合計
朝の学習講座（基礎数学前期）	日野谷	13	34	110	144
朝の学習講座（SPI 数学前期）	日野谷	12	34	84	118
朝の学習講座（基礎数学後期）	日野谷	14	11	65	76
朝の学習講座（SPI 数学後期）	日野谷	14	24	49	73
朝の学習講座（天声人語前期）	福嶋	13	25	61	86
朝の学習講座（SPI 言語分野後期）	福嶋	13	4	41	45
朝の学習講座（時事問題前期）	福嶋	12	29	82	111
朝の学習講座（時事問題後期）	福嶋	14	17	54	71
朝の学習講座（BasicEnglish 後期）	赤羽	14	15	30	45
合計		119	193	576	769

③「10分間学習」の実施

学科	学年	前期 NO01～NO14	後期 NO15～NO28	合計
短期大学部	1	1,776	781	2,557
短期大学部	2	664	94	758
総合経営学科	1	979	0	979
観光ホスピタリティ学科	1	904	0	904
健康栄養学科	1	686	0	686
健康栄養学科	2	0	785	785
スポーツ健康学科	1	1,047	0	1,047
スポーツ健康学科	2	0	763	763
総合経営学科	3・4	423	373	796
健康栄養学科	3・4	127	112	239
合計		6,606	2,908	9,514

④「一般教養基礎問題」の実施

学科	学年	前期 NO01～NO10	後期 NO11～NO21	合計
スポーツ健康学科	1	869	825	1,694
スポーツ健康学科	2	573	670	1,243
合計		1,442	1,495	2,937

⑤ 「一般常識・基礎学力テスト」の実施

学 科	学年	学生数	受験者数	受験率
健康栄養学科	2	91	89	97.8
スポーツ健康学科	2	96	85	88.5
合 計		187	174	93.0

(4) 基礎学力向上のための対策

①漢検・数検受験者

	担当	実施回数	受験者数	合格者数
実用数学技能検定	日野谷	1	4	1 (一次合格者2名)
日本漢字能力検定	福嶋	3	54	18

上記受験者の学習指導として随時対応。

②新入生向け「入学前学習用問題集」の作成と配布・採点

学 科	配布対象者	人数	提出者数	提出率
総合経営学科	一般Bまで	83	81	97.6
観光ホスピタリティ学科	〃	99	84	84.8
健康栄養学科	推薦入試まで	51	49	96.1
スポーツ健康学科	全員	105	105	100
短大部	全員	180	177	98.3
合 計		518	496	95.8

③在学生向け「春期課題問題集」の作成と配布・採点

学 科	学年	配布数	計	提出率
総合経営学科	1	92	24	26.1
観光ホスピタリティ学科	1	85	19	22.4
健康栄養学科	1	65	19	29.2
スポーツ健康学科	1	103	30	29.1
短期大学部 商学科	1	101	57	56.4
短期大学部 経営情報学科	1	104	68	65.4
合 計		550	217	39.5

④在学生向け「夏期課題問題集」の作成と配布・採点

学 科	学年	配布数	提出者数	提出率
総合経営学科	1	92	48	52.2
観光ホスピタリティ学科	1	89	38	42.7
健康栄養学科	1	65	47	72.3
スポーツ健康学科	1	104	66	63.5
短期大学部	1	208	154	74.0
短期大学部	2	233	79	33.9
合 計		791	432	54.6

全学部1年生へ全員配布。

上記以外の希望者52名に配布し、提出者は13名。

⑤来室学生への質問対応、自習室としての利用

・数学・国語・社会・英語などの質問への対応。自習などの利用者は延べ1,565名。

(5) 学生・教職員等への広報活動

①オリエンテーション・講義時間内での広報

②「基礎教育センターだより」の定期的な発行（年4回）

③活動内容を松本大学のホームページに掲載

④メソフィアのメールによる学生への連絡配信・センター前掲示板での広報・連絡

2. 教職センター

(1) 平成26年度履修状況

		1年	2年	3年	4年	合計
総合経営学部	総合経営学科	2	8	8	1	19
	観光ホスピタリティ学科	8	3	7	8	26
人間健康学部	スポーツ健康学科	49	41	30	32	152
	健康栄養学科	6	11	10	26	53
合計		65	63	55	67	250

(平成26年12月31日現在) 総数で昨年度より20名減

(2) 会議開催

教職センター専任会議	11回	4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/24	10/15	11/5
		12/3	1/7	2/4	3/4				
教職センター運営委員会	3回	5/7	12/19	2/19					
教職科目担当代表者会議	2回	8/6	12/4						
教育実習連絡会議	3回	5/14	12/10	3/26					
小学校教諭2種免許状取得支援プログラム会議	2回	8/7	12/4						
教員採用受験指導センター運営部会	1回	5/7							

(3) 出版

『松本大学教職センター 授業実践報告シリーズ11』の発行

中島 節子著 松本大学教職センター2015.3.31

(4) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

平成26年5月10日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会大会 研究部総会

於 帝京平成大学 中野キャンパス 川島教授参加

平成26年5月23～24日 全国私立大学教職課程研究連絡協議会大会

於 帝京平成大学 池袋キャンパス 藤枝准教授、田嶋主事参加

平成26年7月26日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 研究部総会

於 国士舘大学 世田谷キャンパス 梅ヶ丘校舎 (34号館) 藤枝准教授参加

平成26年9月25日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第5部会研究会

於 国士舘大学 世田谷キャンパス 梅ヶ丘校舎 (34号館) 藤枝准教授参加

平成26年12月5日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第5部会第3回研究会

於 国士舘大学 世田谷キャンパス 梅ヶ丘校舎 (34号館) 藤枝准教授参加

平成26年12月13日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第2回研究懇話会

於 創価大学 藤枝准教授参加

平成27年3月4日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会

創価大学「教職センター」見学会

於 創価大学 征矢野教授、藤枝准教授、田嶋主事参加

(5) 教職専門職への就職実績

総合経営学部 1名
人間健康学部 12名

(6) 平成26年度 教職センター活動日誌 (抜粋)

4月2日 教職センター専任会議を開催
4月3日～ 4年次生、教育実習開始を開催
4月5日 1年次生オリエンテーションで教職課程の紹介
4月10日 3年生対象 「教職課程カリキュラムガイダンス」・「教育実習ガイダンス」
4年次生対象 「教育実習ガイダンス」
教職課程ボランティア関係科目ガイダンス
4月11日 2年生対象 「教職課程カリキュラムガイダンス」
4月12日 「地理歴史科指導法Ⅰ」集中講義開始
4月27日 「社会科指導法基礎Ⅰ」集中講義開始
5月3日 梓友会開催 於：ホテルモンターニュ
5月7日 教職センター専任会議を開催
教職センター運営委員を開催
教員採用受験指導センター運営部会を開催
5月10日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会大会（於：帝京平成大学）に参加
5月14日 教育実習連絡会議を開催
5月23～24日 全国私立大学教職課程研究連絡協議会大会（於：帝京平成大学）に参加
6月4日 教職センター専任会議を開催
7月2日 教職センター専任会議を開催
7月7日・7月14日 「地域社会と大学教育」人間健康学部において教職課程の説明
7月3日・7月10日 「地域社会と大学教育」総合経営学部において教職課程の説明
7月12、13日 長野県教員採用選考第1次選考
7月14～20日 2年次生、編入生への教職課程履修の受付
7月26日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会（於：国土館大学）に参加
8月6日 教職センター専任会議を開催
8月6日 教職科目担当代表者会議を開催
8月7日 小学校教諭2種免許状取得支援プログラム会議
8月2・5日 「教育方法論」の集中講義
8月23日 オープンキャンパスで高校生への教職課程の説明
8月19日 「教育課程総論」集中講義開始
8月20日 「学校の制度」集中講義開始
8月22日 「教育心理学」集中講義開始
8月22日 「読書と豊かな人間性」集中講義開始
8月24日 「薬理学」集中講義開始
9月20日 「地理歴史科指導法Ⅱ」集中講義開始
9月23日 社会福祉施設での介護等体験開始
9月24日 1年次生へ教職課程履修ガイダンス実施
9月24日 教職センター専任会議を開催
9月25日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会（於：国土館大学）に参加
10月15日 教職センター専任会議を開催

- 10月26日 「地理歴史科指導法Ⅱ」集中講義開始
- 11月5日 教職センター専任会議を開催
- 11月5日 学校授業参観ガイダンス実施
- 11月6日 教育実習第1回報告会、3会場に分けて実施
- 11月7日 「教育実践特講」の授業で長野県道德教育学会公開授業(於：埴生小学校授業)を参観
- 11月13日 教育実習第2回報告会、4会場に分けて実施
- 11月20日 教育実習第3回報告会、3会場に分けて実施
- 11月26日 「教育実践特講」の授業で松本美須ヶ丘高校授業を参観
- 12月3日 教職センター専任会議を開催
- 12月4日 教職科目担当代表者会議を開催
- 12月4日 小学校教諭2種免許状取得支援プログラム会議
- 12月5日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会(於：国土館大学)に参加
- 12月10日 教育実習連絡会議の開催
- 12月13日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会(於：創価大学)に参加
- 12月17・18日 2年生対象教職ガイダンスを実施
- 12月19日 教職センター運営委員会を開催
- 1月7日 教職センター専任会議を開催
- 1月9日 「小学校二種免許状取得支援プログラム」履修希望者へのガイダンスを明星大学から関係者2名来学して実施
- 2月3日 松本市立高綱中学校学校評議員会に出席
- 2月4日 教職センター専任会議を開催
- 2月5日～6日 「教育実践特講」の集中講義
- 2月19日 教職センター運営委員の開催
- 3月4日 教職センター専任会議を開催
- 3月26日 教育実習連絡会議を開催
- 3月27日 平成27年度教育実習履修可能者掲示

3. 松本大学図書館

図書館の業務は、業務の性格から3つに大別できる。(1)利用者への直接的なサービス業務、(2)利用を支えるための資料・設備等に関わる業務、(3)それらを円滑に行うための総務的な業務・その他である。

平成26年度の活動は次のように分類して報告する。

(1)として、①図書館サービス・図書館利用促進業務

(2)として、②資料・設備等の整備・管理業務

(1)と(2)と兼ねるものとして、③教職員サポート業務

(3)として、④総務的業務・他機関との連携、⑤職員研修

(1) 図書館運営委員会組織と会議

1) 組織

館長1名、総合経営学部 教員2名、人間健康学部 教員2名、短期大学部 教員2名、事務局4名

2) 会議

図書館運営委員会 8回 4/15(火)、5/13(火)、7/3(木)、7/24(火)、9/8(月)、10/22(水)、12/10(水)、3/25(水)

(2) 図書館サービス・図書館利用促進業務

1) 平成26年度利用実績

4月1日(火)～：図書館開館

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
275日	90,794人	4,892人	9,674冊	2,738人

2) 図書館オリエンテーション・ガイダンス

7月29・30日(水)：松商短期大学部後期図書館オリエンテーション

3月25日(水)：総合経営学部在学生進級図書館オリエンテーション

3月26日(木)：人間健康学部在学生進級図書館オリエンテーション

3月27日(金)：松商短期大学部在学生進級図書館オリエンテーション

ゼミナール別図書館ガイダンス

4/15観光1年(益山・大石)、4/18栄養1年(杉山・高木・藤岡・山田)

4/22総経1年(上野・室谷・矢崎・小林(俊))、6/18短大1年(カーター)

7/9スポーツ1年(等々力・犬飼)

3) 通常開館

開館 9:00

閉館 平日20:30 土曜日17:00

18:30以降は電子錠使用(学生証携帯)

長期休業中は 閉館 平日19:00 土曜日17:00

4) 特別開館

①キャンパス見学会休日開館

4/13(日)、5/11(日)、6/15(日)

②その他

10/18（土）～19（日）：大学祭 開館

5) データベース利用

平成26年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

- ① eol 有価証券報告書
- ② 信濃毎日新聞社記事検索
- ③ 国立情報学研究所データベース
- ④ 日経テレコン21
- ⑤ JDream III
- ⑥ 法律判例文献情報
- ⑦ 医中誌 web
- ⑧ Eジャーナル 10タイトル、1パッケージ

6) 学外者利用サービス提供

図書館開館中は、学外者にも図書館サービス（貸出、有料データベース利用以外のすべてのサービス）を行っている。平成26年度利用者は延べ153人であった。

7) 図書の充実・整理

平成26年度受入図書数

図 書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和：3,357	洋：91	1	85	113	3
全：3,448					
和雑誌	洋雑誌				
654	40				

8) 蔵書点検

3/11（水）～3/13（金）

平成26年度点検対象資料：図書館配架の和書のみ、洋書・研究図書・書庫は未実施

9) 学生利用促進企画

- ① 短期大学部教務委員会が行っている2014年度短期大学部入学予定者を対象とした「4月までの準備学習のススメ」の課題提出者に、読書支援のリストとスタンプラリー用のポイントカードを配布（1つ印済み）
- ② 県内7短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」本展示
県内7短大の学生・教職員・司書が毎月テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。
第15号～第18号（年4回の発行）。10月から11月にかけて第2回ヨムゾー大賞を行った。
- ③ グループ学習室利用：学生利用48回（学習やサークル）、ゼミや講義43回
- ④ 昨年度に引き続き、読書スタンプラリー実施（参加人数14人、レポート数113枚）
8月1日（金）より3ポイントで図書カード1枚に変更。11月には新しくリストをつけ加えた。
- ⑤ 6月2日（月）より貸出冊数を5冊から10冊にした。
- ⑥ 図書館同好会による活動
図書館同好会便り発行、選書ツアーを行った。読書月間時には選書ツアーで選書した本のPOPを展示した。
- ⑦ 読書月間：11月3日（月）～11月29日（土）
 - ・教職員による本の紹介
 - ・図書館クイズ：本の中に書かれている食に関する記述をクイズにする
 - ・ブックカフェ

- ・読書会：ジブリ作品となった図書の読書会
- ・企画展示：ジブリ作品の原作本の展示、ジブリ映画からおいしい場面を紹介
- ・おりがみ講習会（図書館同好会主催）キャリアセンター片庭さん講師
- ・図書館同好会の選書ツアーの図書とPOPの展示
- ・雑誌バックナンバーの販売
- ・第2回ヨムゾー大賞：県内7つの大学・短大の共同企画。隣は何を読む人ぞう第10号～第16号で紹介された中から1冊を選んで投票する。

⑧卒論関係

- ・卒業論文用図書貸出のお知らせを掲示
申請者21名（学部：伊藤ゼミ3名／短大：松原ゼミ1名・長島ゼミ12名）
図書45冊貸出
- ・併せて卒論コーナーを設置。ゼミ発表やプレゼンに役立つ本の展示

⑨学生の読書欲を刺激する目的で文庫本を選書・購入

- ⑩昨年に引き続き、映画・ドラマの原作本を購入。映画の原作本は大学周辺の映画館で公開されているものに限り購入。随時更新する。

⑪本の展示

直木賞&芥川賞受賞作、2013年・2014年本屋大賞受賞作、ノーベル賞関係、司書教諭の科目を受講している学生が授業で作ったPOPの展示、ラッピング貸出（クリスマス）、信州プロスポーツ全力応援、北陸新幹線開通記念コーナー 等

- ⑫ブログ（Web上で見られる本棚。本の表紙画像や紹介文を掲載できる）に本の紹介文アップ（読書月間時の教職員の紹介する本、司書科目受講生の紹介する本）

- ⑬昨年度に引き続き、図書館ホームページのニュースの管理を行う。ニュースを更新したら大学ホームページにも公開する。図書館カレンダーをトップページに設置した。

- ⑭短大後期オリエンテーションにて読書案内を実施（7/29、7/30）。1年生用、2年生用に図書館だよりを作成し配布した。

10) 図書館広報関係発行物

- 「図書館利用案内2015」
- 「図書館だより」No.39～41（学生向け）
- 「図書館要覧2014年度版（2011-2013年データ含む）」

11) 巡回図書受け入れ

5月15日（木）：笠原書店・吉川広文館

12) 信州共同リポジトリ

- ・松本大学研究紀要：11号～12号、地域総合研究：13号～15号を公開
- 26年度の閲覧回数：29,965回、論文等のダウンロード数39,725回

(3) 資料・設備等の整備・管理業務

1) 資料の整備

①進路に関するコーナー

昨年度に引き続き資料を購入。資格取得のための問題集も購入対象とした。キャリアセンターより、キャリアセンターでは資料の貸出を行っていないため、同じ資料を図書館に置いてほしいと依頼があり、購入することとした。分類記号をつけたまま番号で整理をしている。分類方法は「①キャリアデザイン、就職案内」「②公務員対策、試験問題」「③就活対策、試験問題」「④業界を知る」「⑤資格案内、資格試験」「⑥就職が決まったら」である。排架場所コードもそれぞれつけ検索しやすくした。

②コンピュータ関係の本

古い図書が多かったので、新しい図書を60冊ほど購入。館内に点在していた図書と併せて分類記号をつけたまま番号で整理をして分かりやすくした。分類方法は「①OS」「②アプリケーションソフト」「③コミュニケーションツール、ソーシャルメディア」「④インターネット、ネットワーク」「⑤情報機器」「⑥コンピュータ利用、活用全般」である。排架場所コードもそれぞれつけ検索しやすくした。

③ラベルの見直し

文庫本、新書本、児童文学は分類記号の前にアルファベットをつけ（文庫本「B」、新書本「S」、児童文学「J」）、3桁の数字で分類することにした。

④雑誌架の排架場所変更

今まで洋雑誌と和雑誌を別々に排架していたが、区別をなくして分野ごとに排架するようになった。

⑤研究室より返却された本の整理

専門分野の先生に協力を仰いで図書館に残す図書を選定していただいた。

2) 設備の新設・更新

①図書館入退館ゲート設置を設置した。同時にBDSを取り替えた。これに伴い、貸出時のカード読み取りは、磁気からICチップによる対応になった。

②館内学生用パソコン18台とプリンター3台入替。3階に2台増設。パソコンのOSはXPからWindows 7へ。プリンターは片面モノクロ印刷から両面カラー印刷対応となった。

③無線LANの増強工事

3) 安全点検

運営委員会委員と図書館スタッフとで、図書館内外の安全点検を行った。

6/6、7/15、10/9、2/23

(4) 教職員サポート業務

1) 図書購入・図書費の管理

平成26年度研究図書費実績

単位(円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
短大	商学	66,236	313,797
	経情	98,838	275,344
総合経営	総経	481,444	841,316
	観光	326,005	662,831
人間健康	栄養	360,458	546,265
	スポーツ	662,396	663,202
	研究科	91,868	248,917
合計			5,638,917

職員図書費	53,082
-------	--------

2) 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献依頼	相互貸借	紹介状発行
157	11	0

3) 司書科目授業協力

- ① 8月1日(金)～10月15日(水) 司書科目「図書館基礎特論」の授業で図書館実習への協力。カウンター業務(貸出返却)・図書の排架(神田対応)、図書整理(図書装備、データ入力など/松島対応)、情報資料検索、雑誌整理(雑誌データ入力、排架など/神田対応)、広報について(本の紹介文をブログへアップする/松島対応)の内容について説明、指導、実習を行った(計4回)。その後1人8回実習、18人対応。10月24日(金)実習報告会を行った。
- ② 2月18日(水)～3月26日(木) 司書科目「図書館基礎特論」の授業で図書館実習への協力。カウンター業務(貸出返却)・図書の排架(神田対応)、図書整理(図書装備、データ入力など/松島対応)、情報資料検索、雑誌整理(雑誌データ入力、排架など/神田対応)、広報について(本の紹介文をブログへアップする/松島対応)の内容について説明、指導、実習を行った(計4回)。その後1人8回実習、10人対応。

(5) 総務的業務・他機関との連携

1) 調査等への回答

- 5月16日(金): 日本図書館協会・図書館調査票提出
11月17日(金): 平成25年度学術情報基盤実態調査提出

2) 規程類整備

- ・「図書館規程」「図書館利用規定」は、実情に合わせるため条項を一部改正した。
- ・「松本大学図書館資料収集・管理規程」を策定した。平成26年4月1日から施行。
- ・「松本大学図書館文献複写規程」を策定した。平成27年3月25日図書館運営委員会承認。
- ・「松本大学図書館資料収集方針」を策定した。平成27年3月27日図書館運営委員会承認。
- ・「松本大学図書館資料収集基準」を策定した。平成27年3月27日図書館運営委員会承認。

(6) 教職員研修

1) 学外研修

- 6月12日(木): 日本図書館協会 大学図書館部会総会
図書館長出席 東京(日本図書館協会)
- 6月13日(金)～14日(土): 2014年度私立大学図書館協会東地区部会部会総会・館長会・研究講演会
図書館長出席 東京(成蹊大学)
- 8月11日(月): 長野県図書館協会大学専門図書館部会・図書館研究会夏期研修会
図書館長、松島出席 佐久市(佐久大学)
- 8月22日(金): 「情報館」短期集中セミナー 図書館長出席 東京
- 8月27日(水)～29日(金): 第75回私立大学図書館協会総会・研究大会
図書館長出席 岡山市(岡山理科大学)
- 10月29日(水): 2014年度私立大学図書館協会東地区部会研修会
松島出席 東京(早稲田大学)
- 2月26日(木)～27日(金): 大学図書館視察
図書館長、神田、松島参加
東京家政学院大学・二松学舎大学・神田外語大学・尚美学園大学
- 3月24日(火): 長野県図書館協会大学専門部会 研究会
松島出席 飯田市(飯田女子短期大学)

2) 信州共同リポジトリ

- 2月13日(金): 訪問研修会 信州大学附属図書館より担当職員が松本大学図書館に来館、

リポジトリデータの登録方法等の研修を実施。 神田・松島出席
3月3日（金）：信州共同リポジトリ年度報告会・研修会
図書館長、神田、松島参加 松本市（信州大学）

(7) その他

「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力

4. 情報センター

(1) 情報センターの業務内容に関する説明

情報センターでは、通常業務として「研究・教育の支援（パソコン教室（ハード・ソフト）整備、コンピュータ関連科目整備、学生向けオリエンテーション実施、学生アシスタント手配、資格管理）」、「情報機器の維持・管理（教職員パソコン、貸出ノートパソコン等、ネットワーク、サーバ類等）」、および学内外に対して「講習会の実施」等を行っている。その中でも、平成26年度当初に計画された情報センターの新規事業は以下の通りである。

①学術研究・教育の支援

- (a) パソコン教室の整備（211教室、212教室のパソコンリプレース、ソフトウェアのバージョンアップ）
- (b) 情報機器の拡充（旧型の貸出用のノートパソコン、デジカメ、デジタルビデオ）
- (c) 教育環境整備の検討
- (d) 情報セキュリティの強化

②情報機器の維持・管理

- (a) 教職員パソコン定期購入、研究室プリンタ購入
- (b) 学務管理システムの拡充
- (c) 備品管理システム構築

③その他

- (a) 情報ポリシーの見直し
- (b) 資格対策について検討、実施

(2) 計画の実施・現状の説明

多くの通常事業および新規事業は、計画通り実施された。以下に記述しておく。

- ・①（a）PC教室のリプレースに関して、入札を行った。PC関連機器の納入実績のある3社に見積もりを依頼し、プレゼンテーション形式での提案書と見積書の提出を求めて最適な企業からの納入を決めた。教職員のパソコン入替は、8月9日に機器納品、8月19日以降順次入替を開始し、10月末までに作業を終了した。
- ・①（c）教育環境に関しては、フロアに設置したPCについて、劣化が進み使用不能となっている機器も多い。このため、学部からの要望を待たずに、情報センター運営委員会にて積極的に交換を進めることについて協議し、学生の利便性を第一に考えて、本年度補正予算を組み、可能な限り交換をした。
- ・①（d）セキュリティを高めるため、専用のウイルス対策ソフトを導入することとした。
- ・②（a）本年度、35台の教職員用PCの入替を行った。まだ十分に機能するPCについては、学内各所のフロアに設置している老朽化したPCと入替えていくが、対象とする場所について、1号館～7号館に均等に振り分けて整備することとした。
- ・4号館3階のエレベータ前のフロアに、学生用のプリンタを整備することとした。ロケーションフリーのシステムを構築し、システムが完成しだい整備することとした。
- ・現在、フロアに設置したPCは、1号館7台、4号館60台、6号館20台、7号館4台となっている。利用頻度が高いにもかかわらず、そのほとんどが老朽化し学生に不利益となっている現状を踏まえ、今後、情報センター運営委員会にて積極的に入替えを行うべきではないかとの意見でまとまった。経費を算出した上で、本年度より可能な台数の入替えを順次行うこととした。
- ・貸出用ノートパソコンのウイルス対策について、個人所有のノートパソコンは自己責任で行い、

大学が準備するノートパソコンのみウイルス対策を行うことが確認された。また、研究費にて購入したパソコンについても対象とすることとした。

- ・退職された教員が、松本大学のメールアドレスの利用を続けることに関しては、これまでに検討されたことが無く、学会へ登録し利用しているため継続したい等の要望があったため、特に利用期限を設けていない状況であった。利用は退職後1年間に限定し、1か月前には利用できなくなる旨の通知を出すことおよび名誉教授については希望があれば利用を継続できること、また、特別な理由があれば、本委員会にて協議し決定するという案を取りまとめた。今後、各教授会に提示し意見を聴取し再検討することとした。
- ・リース購入したノートパソコンについて、現在、故障中や所在が明確になっていない機器があるため、貸出先から一旦情報センターへ返却していただき、希望があれば整備したうえで、再度貸し出す手続きを取ることにした。
- ・4号館2階会議室等のWiFi環境の整備を行った。今後、要望が強いことから、5号館、図書館他、全館のWiFi環境の整備を順次行うことにした。
- ・学生が利用する学内のWiFi環境は、これまで二重のセキュリティ（暗号化キー非公開、学籍番号とパスワードによるFEREC（認証サーバー）へのアクセス）を設け接続を許可していたが、今後、移行期間を設けながら、接続する端末を登録制にし、アクセスの手順を簡略化するシステムへ変更することとした。
- ・シニア大学にて、講習会を実施した。
- ・4月のオリエンテーションでは、全学部学科の1年生を対象に松本大学のコンピュータシステムの利用方法に関する説明会を実施した。

5. 国際交流センター

(1) 業務内容

国際交流センターの業務は、交換留学等の事務的業務と学内の国際化に資する業務の2面性がある。平成26年度は、前者の前提となる海外の大学との協定を、中国の嶺南師範学院と松本大学と松本大学松商短期大学部が、また韓国の東新大学と松商短期大学部が締結した（松本大学とはすでに締結済）。後者の学内の国際化に資する業務を推進する観点から、短期の日本語プログラムを2月に実施した。

グローバル化の進展にともなってわが国の高等教育は、グローバル対応力のある人材育成を主眼にした教育への転換期にある。そこで、平成26年度は、学内の国際化の観点から、中国の嶺南師範学院との間で、試行的に相互に1～2週間程度のプログラムを実施することにした。本学で2月に実施された日本語プログラムには嶺南師範学院の学生8名が参加し、3月に嶺南師範学院で実施されたプログラムには本学から2名の学生が参加した。

(2) 活動報告

- 4月4日 留学生対象新入生オリエンテーション 3名参加
- 4月16日 留学生顔合わせ会
留学生歓迎お花見（国際交流クラブ主催松本城お花見に便乗）
- 4月17日 第1回国際交流センター運営委員会
- 5月8日 総合経営学部1年生向けの講義「地域社会と大学教育」にて国際交流センターについて説明
済州大学短期間韓国語・韓国文化研修プログラム募集締切り
（短期大学生2名が応募）
- 5月9日 第2回国際交流センター運営委員会
済州大学短期間韓国語・韓国文化研修プログラムに短大生1名を選考
- 5月12日 人間健康学部1年生向けの講義「地域社会と大学教育」にて国際交流センターについて説明
- 5月19日 台湾 彰化県 国立溪湖高級中学 生徒33名+教員3名が訪問。（長野県学習旅行誘致推進協議会の依頼による）
- 6月12日 第3回国際交流センター運営委員会
- 6月26日 東新大学 柳在淵副教授、呉成録教授 来学
- 6月27日 JENESYS2.0シンガポール 学生24名+職員1名来学、益山ゼミと合同ゼミ開催
- 7月9日 第4回国際交流センター運営委員会
- 7月22日 第5回国際交流センター運営委員会
- 9月8日 私費留学生後期授業料減免 面接
- 9月24日 第6回国際交流センター運営委員会
- 10月21日 JENESYS2.0タイ 生徒27名+職員3名来学、益山ゼミ・茶道部が対応
- 10月23日 第7回国際交流センター運営委員会
- 10月24日 メリビルカレッジ来学
- 10月31日 第25回留学生による日本語スピーチコンテスト（ホテルブエナビスタ）。第1位 イー ジ ヒョン(14T018)。第3位 アルズグリ トルスン(13K059)。(10名出場)
- 11月12日 第8回国際交流センター運営会議
- 11月20日～25日 糸井センター長・室谷学部長が大韓民国・東新大学および済州大学に出張

- (短期日本語・日本企業・日本文化プログラムの提案、交換留学生の情報交換)
- 11月22日 湘北短期大学主催「第17回英語スピーチコンテスト」沼波楓(12T061) 出場。「レ
ンブランドホテル厚木賞」を受賞。審査員は大石文朗教授が勤める。
- 11月25日 濟州大学および東新大学 2015spring セメスター募集締切り
梗間春佳(14T021) が東新大学に正式に希望
- 11月26日 第9回国際交流センター運営会議
- 11月28日 梗間さんに応募要項の説明実施
- 12月4日～8日 住吉学長・糸井センター長が中国・嶺南師範学院に出張
(交流協定書調印、短期日本語・日本企業・日本文化プログラムの提案)
- 12月17日 第10回国際交流センター運営会議
- 12月20日 松本ワイズメンズクラブ「第16回私費留学生小論文コンテストアジア賞授賞式(梅
風閣にて) 優秀賞 イソンヨン(14R001)、佳作 リシイ(14T087)、ユー ジヒ
ョウン(14R002)、伊藤賞 トジャフィ(14M058)
- 12月24日～25日 留学生・日本文化フィールド・トリップ(長野県下高井郡山ノ内町・小布施
町) 留学生(交換留学生含む) 5名+日本人学生2名 廣田直子教授による講義
「日本食の心」を開催
- 1月9日 東新大学交換留学生送別会(国際交流センター主催) 松本市内「すし典」
- 1月22日 嶺南師範学院(派遣) 出国オリエンテーション
- 1月29日 第11回国際交流センター運営会議
- 1月31日 東新大学交換留学生帰国(中部国際空港まで見送り)
- 2月1日～14日 嶺南師範学院「短期日本語・日本企業・日本文化」プログラムスタート
教員4名+学生8名が来日
- 3月11日 第12回国際交流センター運営会議
- 3月17日～18日 カナダ カウイチャンバレー 地区学校委員長来学
- 3月30日 東新大学交換留学生入国 アパート契約・引越し・入居

6. 地域づくり考房『ゆめ』

(1) 考房『ゆめ』利用促進事業

1) 考房『ゆめ』新入生へのオリエンテーション

4月5日(土): ウェルカムパーティにて

4月14日、21日(月): 人間健康学部1年講義「地域社会と大学教育」にて

4月24日、5月1日(木): 総合経営学部1年講義「地域社会と大学教育」にて

5月21日(水): 短期大学部基礎ゼミにて

2) 学生企画による「ゆめカフェ」開催

4月8日(火)～11日(金)、14日(月)、5月21日(水)

4月～5月: 新メンバー加入促進月間

3) 平成26年度地域貢献活動利用実績

年間受件数	年間参加件数	年間延参加人数
117件	81件	1199人

※考房『ゆめ』で把握している数字。実数とは異なる。

(2) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業

1) 学生の自主企画による活動(12プロジェクト)

4月～3月: 「キッズスポーツスクール」—子どもたちからだを動かす楽しさを伝え、スポーツ好きになるためにスポーツスクールを開催。

4月～9月: 「ヘルシーメニュー」—新村くれき野やさいクラブ・第2コムハウス・ミルティエーユと連携し、地産地消のメニューや商品を開発。

9月～3月: 「いただきます!!」—松本市が実施する食品ロス事業と協働し、リメイク料理や素材丸ごと料理を考案し、レシピを作成。(ヘルシーメニューが名称変更)

4月～3月: 「こどもあそび隊」—親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として「こども広場」を開催。

4月～3月: 「ええじゃん栄村」—地元の食材を活かした商品開発や物品販売で、被災地栄村を応援。

4月～3月: 「Sign」—手話を通じて聴覚障がい者への理解を広める活動を実施。

4月～3月: 「ゆめ通信編集委員会」—学生による学生のための情報を伝える「Volere!!」の編集・発行とゆめ通信「学生ゆめ」を学生目線で取材編集。

4月～3月: 「元気ライフぶろっぶす」—大学の学びを活かして、地域の方の健康づくりを考える。

4月～3月: 「ゆめ撮影隊」—学生や地域の人が行なう地域活動を撮影し、紹介。

4月～9月: 「信濃X」—IT技術を活かして情報を発信し、地域の問題課題やその解決について共有する活動。

7月～3月: 「プロプロ」—使わなくなったレゴブロックを集めてリユース。地域の子もたちとの交流の場や入院中の子どもたちの遊びの道具として配付。

4月～1月: 「白馬高校の存続を考える会」—存続の危機が叫ばれている白馬高校。卒業生にできることを考えて実践する。

1月～3月: 「すすき川花火大会プロジェクト」—平成27年度の実施に向け、実行委員会事務局の企業とともに企画・運営、広報し、花火大会を通して地域の元気を創出。

2) 地域からの依頼事業への参加 (詳細は学生版アニュアルレポートに記載)

個人参加 29件 70人

3) 地域とのパートナーシップ事業 (16事業)

4月～3月：少年少女の成長の手助けと非行のない地域社会を目指す「松本BBS会」へ会員として参画。 [学生×社会人×保護司会]

4月～3月：学生が取り組む地域活動から、テーマを設定し、地域の課題を掘り下げるインターネットテレビ番組「じもと〜く」への参画と収録配信。松本大学地域づくりコーディネーター認定学生と社会人によるコーディネート事業。

[松本大学地域づくりコーディネーター認定者×ゆめ学生プロジェクト×しおじり.iBC]

4月～3月：観光客にも役立つガイド誌「まつもとタウンマップ」に、信濃Xが平成25年度実施してきた松本市の駐車場・トイレ・レストラン・避難所マップのアプリ版をペーパー紙用に変換し掲載。 [信濃X×(有)メディアゴーゴー]

4月～3月：(有)メディアゴーゴーと学生スタッフとの協働企画。月間イクジイまつもと」に考房『ゆめ』コーナーを開設。 [ゆめ学生スタッフ×(有)メディアゴーゴー]

4月～3月：岩崎神社例大祭の伝統ある神事の記録・保存データ制作。 [信濃X×ゆめ撮影隊×岩崎神社氏子総代会]

4月～3月：鎌田児童センターでの出前スポーツスクールの開催。 [キッズスポーツスクール×蒲田児童センター]

4月～3月：北新・松本大学前駅の掲示板による広報の場開設。 [考房『ゆめ』×アルピコ交通]

4月～11月：第二コムハウスが栽培収穫した「食用ほうずき」を使った、ケーキ店「ミルティエユ」とヘルシーメニュープロジェクトによる協働企画。商品開発で、3種類のケーキを販売。 [ヘルシーメニュー×第二コムハウス×ミルティエユ]

5月～11月：すすき川花火大会事務局「(株)富士電機」と学生有志による協働事業。花火大会の企画立案・広報・運営。

[学生有志×(株)富士電機×山雅×商店街組合×すすき川花火大会実行委員会]

6月～11月：新村の農家有志が行っている新村直売所の運営にヘルシーメニュープロジェクトが協力。地元の安全で安心な野菜の収穫・販売・地域住民との交流を図る。

[新村直売所×ヘルシーメニュー]

6月～11月：松本市の公共交通利用拡大に向けた松本市モビリティ事業「バスと電車の交通ひろば」を企画・運営。 [キッズスポーツスクール×松本市×NPO法人×信州大学]

6月～7月：松本神社の伝統ある祭り松本神社神輿渡御祭の継承をめざし、祭りの担い手として参加。 [学生有志×松本神社氏子総代会×松深会×住民]

7月～3月：こどもがつくりあげるまち「あるぷすタウン」開催。

[考房『ゆめ』×学生・社会人有志×専門家×高校×小中学校×松本圏域6市町村×教育委員会×メディア他]

8月～2月：「一緒に考えて！諏訪の観光と美術館・博物館」をテーマに文化施設のバリアフリー調査と若者が訪れたいような施策発案。研修会やタウンミーティングに参加。

[Sign×学生有志×諏訪湖アートルィング協議会×長野県長寿社会開発センター×長野県保健事務所×諏訪周3市×市民]

9月～3月：松本市が行う食品ロス事業の一環としてリメイク料理・丸ごと料理のレシピ作成。

[◎いただきます！！×松本市環境政策課]

12月～3月：普段関わりの少ない幼児と高齢者が集いふれあいながら運動遊びで楽しむ機会を提供。

〔松本キッズスポーツスクール×お元気ライフぷろっぷす×新村福祉ひろば×住民〕

4) サークル活動への支援事業 (1事業)

1～3月：芝沢小学校サッカー指導〔サッカー部〕

(3) 考房『ゆめ』自主事業

1) 平成26年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

- ・前期審査会：平成25年度3月19日実施 応募プロジェクト：6 認定プロジェクト：6
 - ①松本大学キッズスポーツスクール (38,000円) / 子どもたちからだを動かす楽しさを伝え、スポーツ好きになるためにサポートする。月2回スポーツスクール開催 他
 - ②松本大学子どもあそび隊 (53,000円) / 親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として年 9回子ども広場開催・視察研修・出前講座 他
 - ③ Sign (38,000円) / 手話を通じて聴覚障がい者への理解を広める 他
 - ④ヘルシーメニュー (60,000円) / 新村くれき野やさいクラブ・第2コムハウス・ミルティエーユと連携し、地産地消のメニューや商品開発を実施 他
 - ⑤ええじゃん栄村 (30,000円) / 栄村復興支援(栄村特産品を使った商品開発・農産加工品の販売応援) 他
 - ⑥ゆめ通信編集委員 (57,800円) / 学生による学生のための情報を伝える「Volere!!」の編集・発行
- ・後期審査：申請 0件
- ・報告会：3月18日(水)

2) 平成27年度前期地域づくり学生チャレンジ奨励制度開催

- ・申請前事前指導・支援：一斉講義〔企画書・予算書の立て方〕 3月9日(月)、個別指導(随時)
- ・募集期間：2月16日(月)～3月13日(金)
- ・審査会開催：3月18日(水)
- ・応募プロジェクト：6件 認定プロジェクト：6件
 - ①松本大学キッズスポーツスクール (38,000円)
 - ②松本大学子どもあそび隊 (40,000円)
 - ③ Sign (25,000円)
 - ④ええじゃん栄村 (100,000円)
 - ⑤いただきます!! (30,000円)
 - ⑥プロプロ (42,000円)

3) 第4期松本大学地域づくりコーディネーター養成講座開催

＜平成26年度総務省「地域の担い手創造事業」モデル事業に採択＞

- ・開催期間：基礎講座 26年11月～12月 専門講座 26年12月～1月
実践講座 27年3月～8月 実践活動報告・審査会
- ・講座開講時の受講者：21名(社会人17名、学生4名)

・平成26年度実施内容

講座名 / 月日	内容	講 師
11月22日 (土) 開講式 基礎講座 1	開講式 共通基盤づくり 1) 地域づくりコーディネーター養成講座のねらいと展開 2) 地域づくりにおけるコーディネーターの必要性とその役割 3) 今なぜ協働か、協働の必要性とそのあり方 他 4) 交流会 (受講者を知る。講座の地域づくりコーディネーター認定者活かし方他)	住吉廣行 (松本大学学長) 福島明美 (本学教員) 地域づくりコーディネーター認定者
11月23日 (日) 基礎講座 2	1) フィールドワーカー (A コース) 長野市中条 (B コース) 大町市・安曇野市 (C コース) 伊那市・辰野町・塩尻市 *ただし、長野県北部地震発生により中条・大町市は中止) コース変更 2) フィールドワークのまとめ	福島明美 (本学教員) 黒岩秀美・三戸呂美都子・戸枝智子・小澤悠維・清水進 (地域づくりコーディネーター認定者) 他 山崎富一 (NPO 法人笑顔せたがや事務局長)
12月7日 (日) 基礎講座 3	シナリオを実現するための魅力あるプログラムづくり 1	山崎富一 (NPO 法人笑顔せたがや事務局長)
12月20日 (土) 専門講座 1	共感のファシリテート つぶやきの響き合い / 議論の見える化 / 合意形成	延藤安弘 (NPO 法人町の縁側育み隊代表理事) 名畑恵 (NPO 法人町の縁側育み隊事務局長)
12月21日 (日) 専門講座 2	共感のプロデュース ～地域に継続した力を吹き込むために / 市民と行政が連携した地域づくり～	高橋信博 (山形県農村水産部農政企画課) 地域づくり専門員)
1月10日 (土) 専門講座 3	共感のマネジメント 1) ビジョンと戦略 2) シナリオを実現するための組織づくり	播磨康夫 (財団法人たんぼぼの家理事長) 小林博明 (町の縁側育み隊長野世話人) 廣瀬豊 (本学教員)
3月28日 (土) 実践講座 1	シナリオを実現するための魅力あるプログラムづくり 2	山崎富一 (NPO 法人笑顔せたがや事務局長)

・事業実施団体取り組み報告及び学識経験者を交えた意見交換

期日：2月18日 (水) 会場：総務省 事業報告者 福島明美

出席者：事業実施団体代表、受講者代表、有識者、総務省、調査受託業者

内容：事業実施団体取り組み報告、意見交換、有識者アドバイス

・松本大学地域づくりコーディネーター養成講座講義録作成

発行：松本大学 編集：松本大学地域づくり考房『ゆめ』 発行日：2015年3月30日

4) COC 事業 平成26年度地域フォーラム「子どもだけのまちを創ろう！ “あるぷすタウン”」開催

- ・運営期間：4月～2015年3月
- ・開催日：2月28日～3月1日
- ・会場：松本大学5号館・第一体育館
- ・目的：子どもたちが協力しあいながら自分たちでまちを創ることにより、社会の仕組みを知り、子どもたちから地域に関心を持つきっかけとするとともに、異年齢間の子ども同士のコミュニケーションの場を創出することを目的とした。また、学生が社会人とともに子どもたちが楽しんでまちを創るためのサポートや企画運営を行うことで、社会人基礎力を身につけていき、社会の担い手としての自覚を育むことを目的とした。
- ・参加者：2日間参加可能な中南信の小学4年生61名、5年生46名、6年生37名、中学1年生13名、2年生2名、3年生1名の計160名。当日ボランティアスタッフは、中南信地域11校の高校生68名（28日48名・1日48名）、本学学生89名（28日67名・1日62名）、専門家を含む社会人90名（28日71名・1日61名）、教職員3名（28日3名・1日3名）
*総勢2日間述べ659名。
- ・企画・運営スタッフ：あるぷすタウン実行委員会
- ・後援：松本市、塩尻市、安曇野市、山形村、朝日村、松本市教育委員会、塩尻市教育委員会、安曇野市教育委員会、山形村教育委員会、朝日村教育委員会、信濃毎日新聞社、中日新聞社、市民タイムス、松本平タウン情報、読売新聞松本支局、朝日新聞松本支局、毎日新聞松本支局、NHK長野放送局、SBC信越放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、NBS長野放送、(株)テレビ松本ケーブルビジョン、あづみ野エフエム、FMまつもと、長野エフエム放送
- ・協力（サポーター）：各ブース専門家、高校生ボランティア、社会人ボランティア他
- ・協賛：松本倉庫、サントリービバレッジサービス株式会社
- ・事前指導・打ち合わせ：平成26年4月～27年2月（1実行委員会：3回）
- ・協力：仕事ブース・アカデミーブースの専門家、エクセラン高校、東京都市大学塩尻高校、田川高校、松本深志高校、松本蟻ヶ崎高校、明科高校、豊科高校、下諏訪向陽高校、岡谷南高校、大町北高校、大町高校
- ・実施内容：「あるぷすタウン」は、子どもたちがまちを運営し創り上げていく、子どもだけのまち。本物の仕事をプロの方に指導していただき、実際の仕事に触れ、給料を稼ぎ、税金を納め、残ったお金は自分の好きなように使う。また、市長・議員選挙を行い、社会システムの基本をしってもらおうという取り組み。「本物にこだわる」「子どもや学生の主体性、自主性を育む」をコンセプトに開催。あるぷすタウンには、官公庁街（ハローワーク、税務署、銀行、選挙管理委員会、市役所、消防署、警察署、病院、博物館）、商店街（食べ物屋、雑貨屋、花屋、写真屋）、サービス業（清掃会社、交通機関）、メディア街（ラジオ局、インターネットテレビ局、新聞・イラスト関係業者）、職人の街（板金屋、大工、植木屋）、マナーの22ブースが開店。お金を消費する学びの場「アカデミー」は、松本雛（七夕人形）、染め物、松本の伝統工芸みずす細工、信州産ヒノキのマイ箸づくり、ストラップ作り、ペーパークラフト、デザインピース、道化師、鳥・甲虫・蝶の生態、天体、健康吹き矢の11講座を開講。専門職の社会人から仕事を学ぶ。「カルチャー」では、オリジナルプレスレットづくり、手話体験、スプレーアート、レシピ作り、迷路クイズ、松大ピックの7講座を開講。子どもたちがチームを組んで、それぞれが工夫して起業・出店したブースは「宝くじ店」「アクセサリー店」など専門家による創業支援を受けて、10店舗が開店。
- ・支援内容：フォーラム全般運営、実行委員会全般コーディネート、参加小中学生・専門家・高

校生・社会人・学生等の募集と掌握、調整、打合せ、会場設営と備品準備 他

5) 第48回梓乃森祭地域づくり考房『ゆめ』ひろば開催

- ・運営期間：8月～10月
- ・開催日：10月18日（土）、19日（日） 於：松本大学5号館
- ・内容：活動紹介パネル数／10プロジェクト、コーナー出展数／6プロジェクト、
 - 〈展示コーナー〉学生プロジェクト活動紹介、地域づくり考房『ゆめ』事業紹介、第4期地域づくりコーディネーター養成講座事業紹介、産学官民協働事業活動紹介（松本市モビリティ事業、松本市食品ロス事業、じもとーく、キッズトレイン、すすき川花火大会、Sign & 諏訪湖まちじゅう芸術祭実行委員会、再生食器活動）
 - 〈販売コーナー〉地元の野菜・クッキー、農産加工品、手作りパン、くだもの、豚汁、お好み焼き風の野菜せんべい、ちらし寿司、おやき等
 - 〈体験コーナー〉レゴブロックで遊ぼう、クイズとアンケートに答えよう！、要約筆記
 - 〈その他〉無料湯茶接待休憩処
- ・参加団体：12団体（学生プロジェクト：7団体、地域：5団体）
- ・支援内容：プログラム内容・相談・調整・事前打合せ

6) 『キッズトレイン！！』企画・運行・・・地域と大学の産学官民協働事業として開催

- ・運営期間：4月～11月 ・場 所：松本電鉄上高地線
- ・開催日：9月7日（日） ・11月8日（松本市主催「バスと電車の交通ひろば」に併せて運行）
- ・目 的：上高地線の電車を貸し切り、親子の交流の場づくりを通して、多くの方に上高地線に愛着を持っていただく。また、活動を通して学生は、企画力や実践力、最後までやり抜く力、チームで協力し合う力を身につけることを目的に開催した。
- ・参加者：親子約60組（195名）
- ・実施方法：考房『ゆめ』OGと元保育士親子、学生、考房『ゆめ』プロジェクト「松本大学子どもあそび隊」により、考房『ゆめ』キッズトレイン実行委員会を組織して実施
- ・企画・運営：キッズトレイン実行委員会
 - 〈構成〉学生時代地域活動に関わった本学卒業生、元保育士の親子5組。学生有志10人。当日スタッフは学生プロジェクト「子どもあそび隊」
- ・協賛・協力：アルピコ交通株式会社・株式会社長野放送・山村電業株式会社・松本大学生生活協同組合・松本市地域公共交通協議会（松本市）・株式会社アビックス・月刊イクジ・デリシア波田駅前店
- ・実施内容：アルピコ交通“なぎさトレイン”の車内を小さな子ども達のお遊び場にして列車を運行。カーペットを敷き、手作り装飾で暖かな空間を演出し、多彩な催しや、くつろぎ・飲食・授乳・おむつ交換コーナーも設置。学生時代地域活動に関わった本学卒業生と元保育士も実行委員に加わり、その経験値と母親目線の細かな気配りや楽しむ気持ち持ちは学生のアイデア等と融合し、親子で楽しめる楽しい企画を展開した。
 - <実施イベント>
 - ・手遊び・乗車ルールを楽しく伝える大型紙芝居・親子ふれあい歌体操・親子で楽しむスタンプラリー（魚つり・輪投げ等）・段ボールトンネル・曲にあわせて手作りマラカスで踊ろう・立見台で運転席や車窓見学・絵本コーナーなど。
 - ・運行終了後「ゆめトレイン」ヘッドマークやなぎさちゃんパネルと一緒に記念撮影・フリーキップで電車の旅、交通ひろばへの参加。
- ・支援内容：イベント全般運営、実行委員会全般コーディネート、参加親子・学生スタッフの募集と掌握、調整、打合せ、会場設営と備品準備 他

(4) センター組織の整備充実**1) 学生の活動への支援体制の充実**

- ・学生スタッフ等の配置

内容：ゆめ学生スタッフ：5名（相談員・情報収集・発信・イベント企画・運営・実施）、
ゆめ通信編集委員：12名（学生ゆめの編集他）、

2) 各種会議開催

- ・運営委員会議：5/13 9/26 1/20 3/18
- ・職員会議：5/13、7/7、9/24、10/14、1/28 ほか随時
- ・学生スタッフ会議：月2回

3) 研修・交流会

- ①考房『ゆめ』全プロジェクト前期研修会・交流会：8月6日（木） 学生30名、教職員3名
内容：プロジェクトの前期活動ふりかえり、後期の計画にむけて 他
企画・運営：学生スタッフ
- ②学生スタッフ・プロジェクトリーダー合同研修会：8月6日（木） 参加学生40名
内容：リーダーとしての役割と心構え / 平成26年度前期ふりかえりと後期計画について 他
講師：福島明美
- ③村視察・研修：9月17日（木）場所：栄村村内 学生11名、教職員2名
- ④全国まちづくりカレッジ in 東海：9月13日（土）～14日（日）場所：星城大学 他
内容：フィールドワーク、交流会、活動発表 参加学生14名
- ⑤プロジェクト交流会（新年会）1月9日（金） 学生60名 教職員3名
企画・運営：学生スタッフ
- ⑥考房『ゆめ』全プロジェクト後期研修会・交流会：3月9日（月） 学生66名 教職員1名
企画・運営：学生スタッフ
- ⑦学生スタッフ・プロジェクトリーダー合同研修会：3月9日（月） 学生24名 教職員1名
内容：リーダーとしての役割と心構え / 26年度を振りかえりと27年度事業計画について
講師：福島明美

(5) 広報関係**1) ウェブサイト（ゆめ HP）・学生ブログによる情報発信****2) 広報紙発行・掲載**

- ・「ゆめ通信」の発行 第29号～第31号 ・活動を学報「蒼穹」に掲載 第115号～第117号

3) 新聞・雑誌等掲載

- ・文部科学省著作「大学教育の質的転換に向けた実践ガイドブック」（P31、P120～P121、P130～P131、P140～P141）
- ・信濃毎日新聞、中日新聞、市民タイムス、タウン情報、月刊イクジィ、他各社
- ・キッズトレイン特集掲載（月刊イクジィ10月号 P54・信濃毎日新聞31面）
- ・あるぶすタウン特集掲載（タウン情報11～12面・信濃毎日新聞 24面）

4) 記者会見

商品開発 第2コムハウス、ヘルシーメニュー、ミルティーユ 共同記者会見：6月10日（火）

5) 学外での活動発表

5月～3月 しおじり.iBC企画インターネット放送「じもとーく」にて、ゆめ学生プロジェクト活動を紹介

期日	テーマ	発表者	コメンテーター
5月3日	子どもの運動の場がなくなった!?	松本大学キッズスポーツスクール	徳原 聡 (NPO もぐとく)
7月5日	人とのコミュニケーション	松本大学子どもあそび隊	隠居 綾 (当事者)
9月6日	地域と聴覚障がい者のつながり	Sign	山岡 幸美 (当事者)
11月9日	伝える	ゆめ通信情報紙編集	入村 麻理(株)プラルド
1月10日	みんなで減らそう食品ロス	いただきます!!	丸山祐太郎氏 (松本市環境政策課)
3月7日	栄村を元気にしよう	ええじゃん栄村	福島明美 (ゆめ専任講師)

* 大学側のコーディネーター：原侑子 (地域づくりコーディネーター準認定者 / 学生スタッフリーダー)

11月1日	新村文化祭にて、栄村復興支援活動の報告発表	[ええじゃん栄村]
11月9日	島内文化祭にて、手話を使った活動発表	[Sign]
10月25日	諏訪湖アートリング協議会主催の研修会にてバリアフリー調査・検証報告発表	[Sign]
2月11日	長野県保健事務所・長野県長寿社会開発センター主催「タウンミーティング」にて、諏訪アートリングとの協働事業を報告発表	[Sign]

(6) その他

1) 賞の授与

10月4日	明るい社会に貢献する奨学生 [原 侑子]
10月17日	松本大学学長賞 [原 侑子]
10月19日	松本大学地域貢献対象エプソン賞受賞 [Sign]
10月24日	長野保護観察所長 感謝状 [福島明美]
12月16日	松本市モビリティ事業への感謝状 [松本大学地域づくり考房『ゆめ』(キッズスポーツスクール他、学生有志)]
3月19日	松本大学同窓会賞 [Sign]

2) ゆめ事業報告

2月26日	(独) 国立青少年教育振興機構主催「第3回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」支援者分科会「地域連携をどう創るか? ~地方単科大学の挑戦~」にて事例報告 「松本大学地域づくり考房『ゆめ』のめざす地域連携とそこでの学生の学びとその可能性」 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 報告者：福島 明美
-------	---

3) 視察訪問

仁愛大学、甲南女子大学、山梨英和大学、西九州大学、田園調布学園大学、福岡大学、岐阜経済大学、東京成徳大学、小田原短期大学、十文字学園女子大学、中央大学、徳島大学、桐蔭横浜大学、ノースアジア大学、静岡県立大学 他

7. 地域健康支援ステーション

本ステーションは、文部科学省平成21年度大学教育推進 GP 事業の採択を受け、本学人間健康学部健康栄養学科内に設置され、平成22年4月から管理栄養士を専任スタッフとして配置し、メニュー開発や栄養指導など本格的に活動を開始した。GP 事業終了後も独自に運営していくこととなり、スポーツ健康学科含め人間健康学部全体の教育や地域貢献との関わりを保ちながら活動してきた。平成25年度には同省 COC 事業の採択を受け、健康運動指導士を専任スタッフとして配置し、地域からの要望に応じ、運動指導や体力測定などを行っている。活動に参加する学生においては、地域における実践指導の体験等を通して栄養や運動に関する専門的な学習を深める場となっており、学生の育成と地域貢献を理念とした健康づくりのため、栄養と運動の両面からさまざまな活動を行っている。

(1) 組織と会議

- 1) 組織：運営委員長1名（健康栄養学科長） 委員3名（スポーツ健康学科長、総合経営学科、観光ホスピタリティ学科各1名） 事務局5名
- 2) 運営委員会：3回 5月23日、12月16日（文書審議）、1月19日（文書審議）

(2) 管理栄養士による実践的活動

地域からの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ（管理栄養士）が実施した活動

1) 栄養健康教育

- ① 7月25日、8月28日「林業初任者研修」の講師
（依頼元：助長野県林業労働財団、対象者66名、指導教員：廣田直子）
- ② 1月31日「スポーツ食育講習会」
（依頼元：セダックサッカースクール、対象者209名、指導教員：廣田直子、参加学生4名）

(3) 健康運動指導士による実践的活動

地域からの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ（健康運動指導士）が実施した活動

1) 運動実践指導

- ① 4月17・21・24日、5月1・8・12・15・22・26・29日、6月2・5・12・16・19・23・26・30日、7月3・10・14・17・24・28・31日、8月4・7・21・25・28日、9月1・4・8・11・18・25・29日、10月2・6・9・20・23・27・30日、11月6・10・13・17・20・27日、12月1・4・11・15・18日、1月8・15・19・22・26・29日、2月2・5・12・16・19・23・26日、3月2・5・12・16・19・23・27日
「健康教室『のびのび健康時間』の講師」
（依頼元：塩尻市吉田公民館、対象者932名、指導教員：中島節子、参加学生23名）
- ② 4月25日、5月21日、6月4・17日、7月1日、8月5日、9月2・26日、12月17日、3月27日
「朝日村介護予防運動教室の講師」
（依頼元：朝日村長、対象者189名、指導教員：中島節子）
- ③ 4月21日、5月7・20日、6月9・24日、7月7・22日、8月4・19日、9月8・24日、10月6・21日、11月4・17日、12月8日、1月5・20日、2月9・24日、3月9・24日
「塩尻市介護予防運動教室の講師」
（依頼元：塩尻市本山公民館長、対象者249名、指導教員：中島節子）

- ④ 5月12日、7月2日、11月12日、12月6日、1月14・16・21日、2月6・14・24日
「介護予防運動教室の講師」
(依頼元：長野県農協共済福祉事業団等、対象者252名、指導教員：中島節子)
- ⑥ 7月18日「ウォーキング講座実技指導」
(依頼元：塩尻市役所健康づくり課、対象者40名、指導教員：田邊愛子)
- ⑦ 10月3日「お元気づくり講座『66歳のいきいき講座』の講師」
(依頼元：朝日村長、対象者9名、指導教員：中島節子)
- ⑧ 10月16日「コレ捨て減る脂^{ヘルシイ}講座 ウォーキングの話と実技」
(依頼元：塩尻市役所健康づくり課、対象者30名、指導教員：中島節子、参加学生1名)
- ⑨ 10月28日「お元気づくり講座『高齢者の健康体操指導』の講師」
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会、対象者30名、指導教員：中島節子)
- ⑩ 1月28日「精神障害者福祉施設 健康教室の講師」
(依頼元：朝日村長、対象者6名、指導教員：中島節子)
- ⑪ 3月10・25日「中高齢者を対象とした運動教室」
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会床尾分会長、対象者24名、指導教員：中島節子)

2) レクリエーション

- ① 9月20日「全国レクリエーション大会2014福島 軽運動を伴うレクリエーション事例発表」
(依頼元：長野県レクリエーション協会、対象者多数、参加学生9名、指導教員：犬飼己紀子)
- ② 10月1日「精神障害者福祉施設交流会 軽スポーツとレクリエーションの講師」
(依頼元：朝日村長、対象者13名、指導教員：犬飼己紀子)
- ③ 12月5日「軽運動を伴うレクリエーションの講師」
(依頼元：就労支援事業所「そよ風の家」、対象者40名、指導教員：犬飼己紀子)

(4) 学生との連携による実践的活動

地域をフィールドとしたゼミ活動や地域からの依頼を受けて、本ステーションの管理栄養士、健康運動指導士が専門的サポートをし、学科教員の指導のもと健康栄養学科とスポーツ健康学科の学生と連携して実施した活動。

1) 栄養健康教育

- ① 「須坂高校野球部栄養サポート」
(依頼元：須坂高校野球部、指導教員：廣田直子)
 - a) 5月2日「水分講座」 (対象者56名)
 - b) 5月8日「身体計測」 (対象者55名)
 - c) 5月9日「栄養講座・食事体験講座」 (対象者55名)
 - d) 7月4日「試合直前栄養講座」 (対象者90名、参加学生6名)
 - e) 7月29日「引退部員への栄養講義」 (対象者18名)
 - f) 2月20日「身体計測と栄養講座」 (対象者18名)
 - g) 3月5日「評価会」 (対象者35名)
- ② 6月25日、10月1日、12月25日、3月18日「有線放送番組の企画と出演」
(依頼元：更北有線放送、参加学生6名、指導教員：廣田直子)

2) メニュー開発等

- ① 「松本山雅スタジアム『食』第5期メニュー開発」
(依頼元：松本山雅、指導教員：廣田直子、石原三妃、成瀬祐子)
 - a) 6月12日「プロジェクト説明会・講演会」 (対象者学生)
 - b) 6月14日「現地視察」 (対象者多数、参加学生2名)

- c) 9月11日「完成発表会」 (対象者多数、参加学生7名)
- d) 9月14日「販売視察と補助」 (対象者多数、参加学生13名)
- ②「世界健康首都会議 健康弁当提案プロジェクト」
(依頼元：松本市ほか、指導教員：成瀬祐子、水野尚子、石澤美代子)
- a) 8月1日「プロジェクト説明会・講演会」 (対象者学生)
- b) 9月3日「工場見学および打合せ」 (対象者多数、参加学生18名)
- c) 11月8日「完成披露会」 (対象者多数、参加学生18名)
- d) 11月18日「仕込み体験」 (対象者多数、参加学生2名)
- e) 11月19日「プレゼンと販売」 (対象者多数、参加学生12名)
- ③10月19日「6次産業安曇野そばスイーツコンテスト支援」
(依頼元：安曇野はそばの郷振興委員会、指導教員：矢内和博、参加学生6名)
- ④12月14日「食育 SAT システムによる食事診断」
(依頼元：長野県諏訪保健福祉事務所、対象者多数、参加学生1名)
- ⑤2月26日「食育 SAT システムによる食事診断」
(依頼元：長野県木曾保健福祉事務所、対象者多数、参加学生5名)
- 3) 調理実習
- ①12月7日「須坂高校野球部調理実習」
(依頼元：須坂高校野球部、対象者20名、指導教員：廣田直子、参加学生2名)
- 4) 運動実践指導
- ①6月25日、10月1日、12月25日、3月18日「有線放送番組の企画と出演」
(依頼元：更北有線放送、指導教員：中島節子、参加学生6名)
- 5) レクリエーション
- ①6月10日「特別養護老人施設でのレクリエーション」
(依頼元：特別養護老人ホーム「岡田の里」、対象者25名、指導教員：犬飼己紀子
参加学生12名)
- (5) サポート教員
- ①10月29日 看護教諭課程履修生「看護学概論」の講義一コマ
管理栄養士による「健康づくり・栄養の話」
(依頼元：松本大学人間健康学部スポーツ健康学科中島節子専任講師、対象者：看護学概論履修生)
- (6) その他専門活動
- ①2月25日 長野県健康づくり研究討論会発表
「学生の提案する健康弁当プロジェクトの取組について」 (主催：長野県健康福祉部)
- (7) 広報活動
- ①ホームページブログ記事更新
- ②学報「蒼穹」第115、116、117、118号原稿執筆
- ③3月26日 在学生オリエンテーション
- (8) 研修会
- ①12月6日 卒業生フォローアップ研修会「ペップトークで人生が変わる」堀内裕一朗氏特講演会 (併催)